

2019 株式会社ADEKA

1st Half Consolidated Financial Results

第2四半期 決算説明会

2019年11月27日
【証券コード 4401】

2019年度 決算説明

第2四半期

2019年4月～2019年9月

代表取締役社長 城詰 秀尊

1. 2019年度上期 連結業績
2. 2019年度 連結業績予想と事業施策
3. ご参考
 - ・2019年標語
 - ・海外売上高

2019年度上期 連結業績

2019年度上期 連結業績の概要

連結

(単位：億円)

	2018年度上期	2019年度上期	増減	増減率 (%)
売上高	1,261	1,461	200	15.9
営業利益	107	90	△ 16	△ 15.7
経常利益	112	82	△ 29	△ 26.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	79	59	△ 20	△ 25.7
1株当たり 四半期純利益 (円/株)	77.3円	57.5円	△ 19.8円	
配当金 (円/株)	21円	24円	3円	

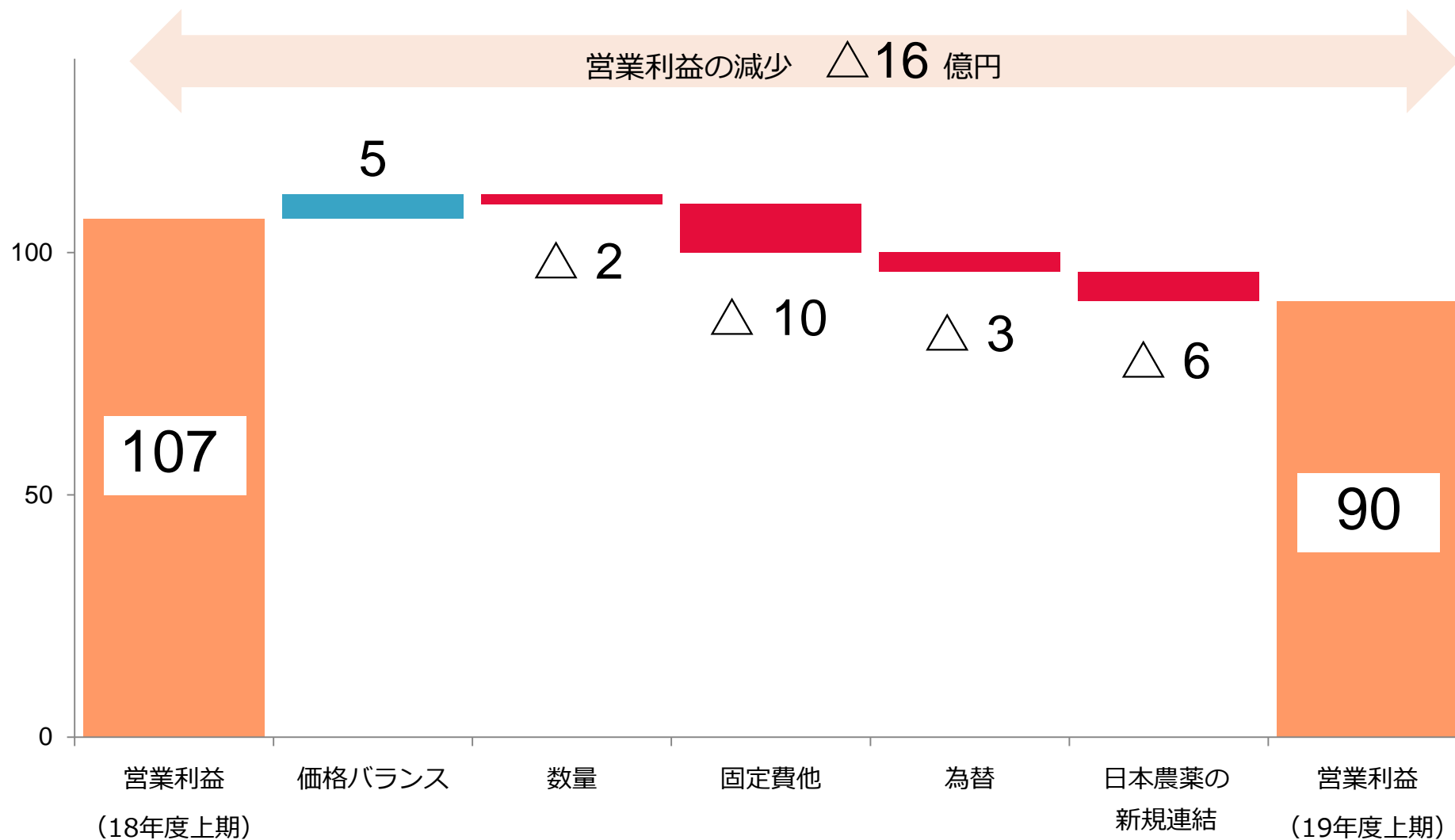
- 売上高は、昨年度下期に連結化した日本農薬の売上が寄与し、増収となった。
- 営業利益、経常利益、四半期純利益は、化学品事業・ライフサイエンス事業での苦戦に加え、積極的な設備投資に伴う固定費の増加、為替の影響を受け、減益となった。

注1) 2018年度上期の四半期純利益は、日本農薬等の連結子会社化に係る会計処理（暫定値の確定）による見直し後の数値を記載

注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

営業利益の増減分析

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

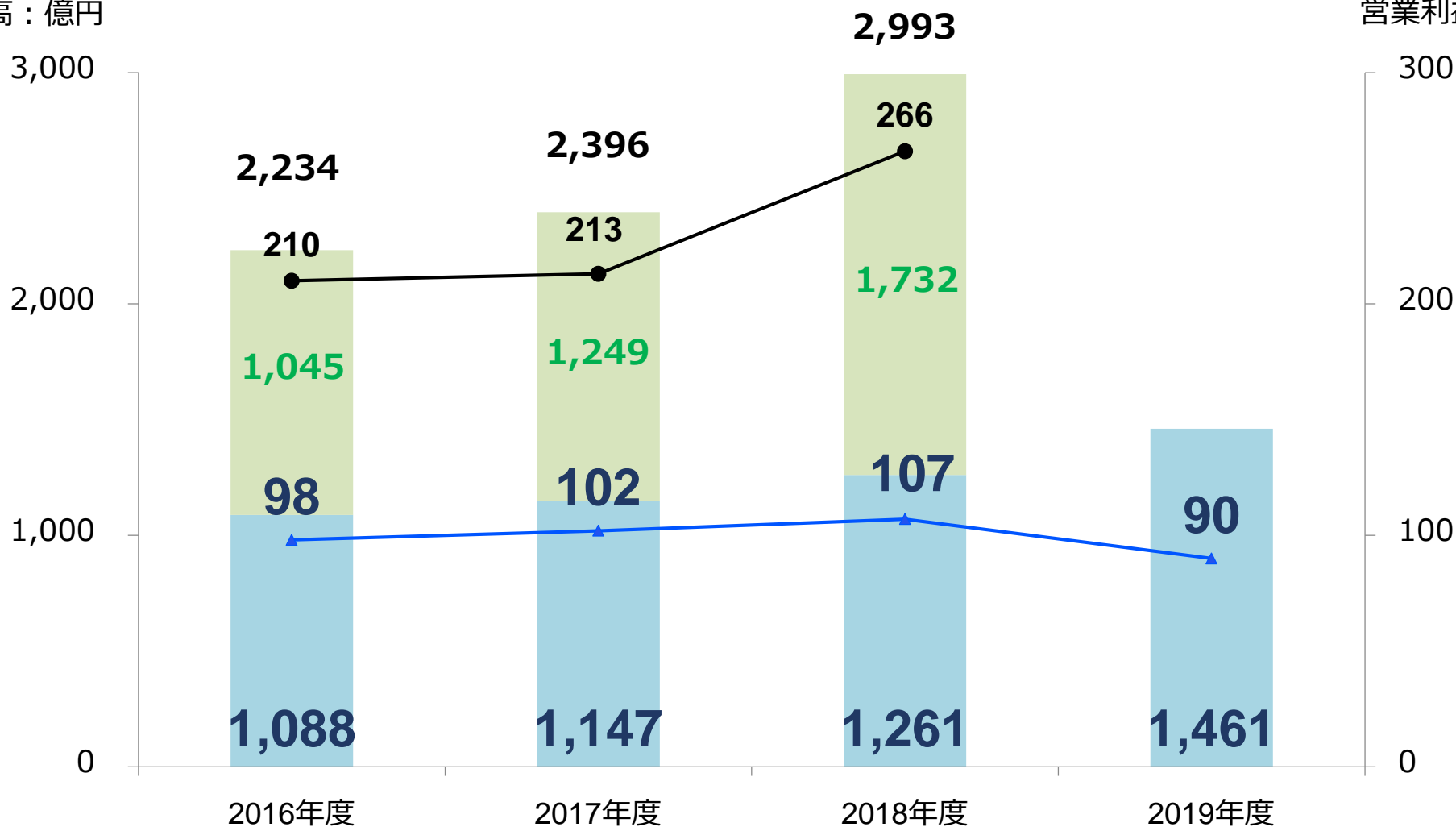
連結業績推移

連結

■ 上期売上高 ■ 下期売上高 ▲ 上期営業利益 ● 営業利益（年度）

売上高：億円

営業利益：億円



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2019年度上期 連結業績 (セグメント別数値)

連結

(単位：億円)

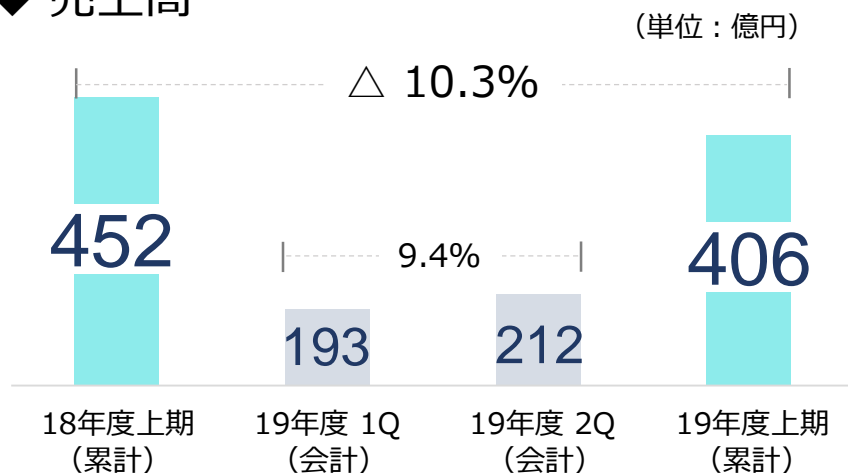
	2018年度上期	2019年度上期	増減	増減率 (%)
売上高	1,261	1,461	200	15.9
化学品	848	812	△ 36	△ 4.3
樹脂添加剤	452	406	△ 46	△ 10.3
情報・電子化学品	126	129	3	3.1
機能化学品	270	276	6	2.4
食品	352	345	△ 6	△ 1.8
ライフサイエンス	-	261	261	-
その他	60	42	△ 18	△ 30.1
営業利益	107	90	△ 16	△ 15.7
化学品	100	87	△ 13	△ 13.0
樹脂添加剤	33	32	△ 1	△ 5.5
情報・電子化学品	34	30	△ 3	△ 10.5
機能化学品	32	24	△ 7	△ 23.4
食品	3	4	0	18.2
ライフサイエンス	-	△ 6	△ 6	-
その他	2	4	1	76.3

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

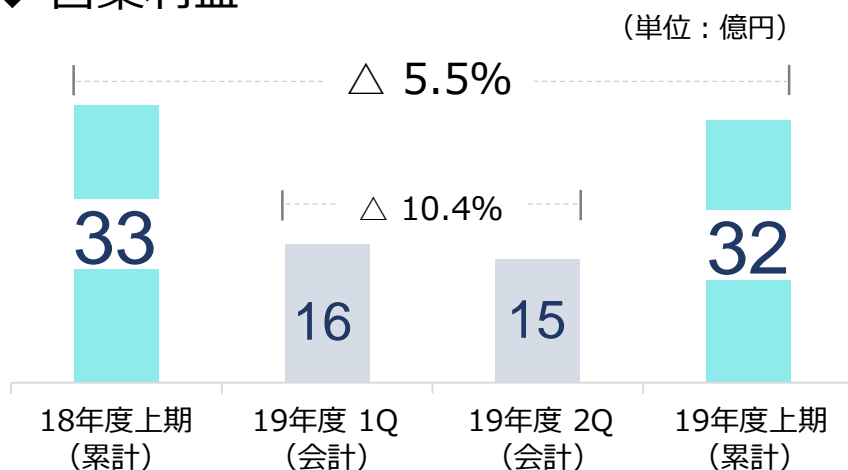
連結

樹脂添加剤 減収減益

◆ 売上高



◆ 営業利益



主な要因 (対前年同期)

◆ ポリオレフィン用添加剤

低調 汎用酸化防止剤

◆ 可塑剤・塩ビ用安定剤

米国、中国、東南アジアでの需給悪化と価格競争の影響

低調 製品全般

◆ 難燃剤

好調 エンプラ用 難燃剤

主な要因 (対前年同期)

価格バランス
0.8億円

数量
△ 0.8億円

為替
△ 1.4億円

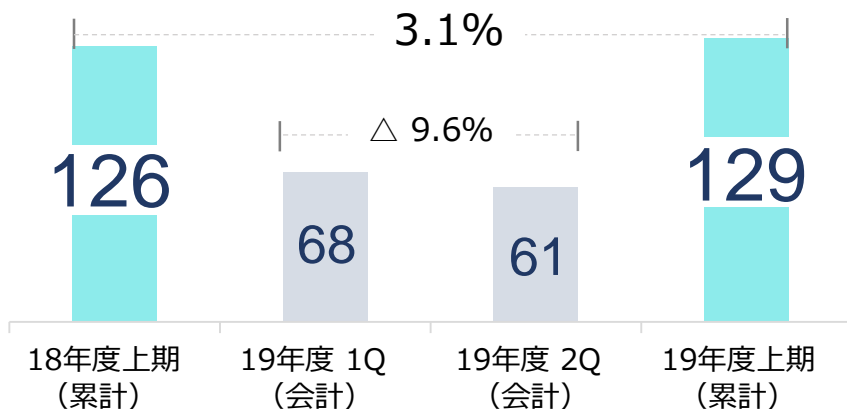
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結

情報・電子化学品 増収減益

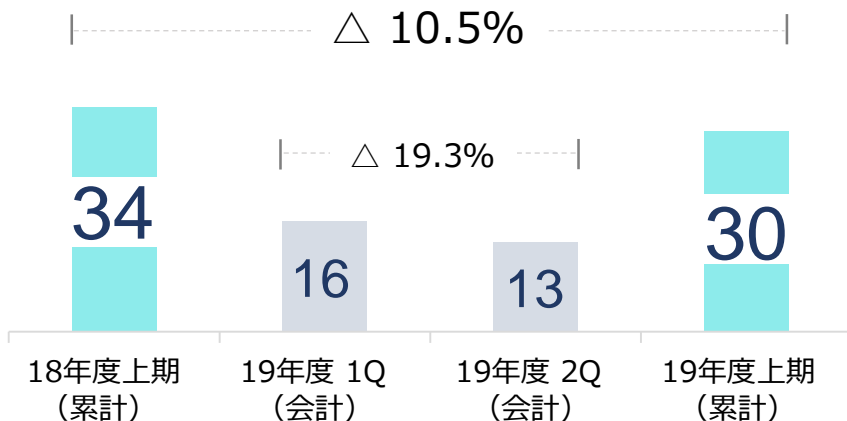
◆ 売上高

(単位：億円)



◆ 営業利益

(単位：億円)



主な要因 (対前年同期)

◆ 情報化学品

好調 半導体リソグラフィ用途 光酸発生剤

◆ 電子材料

伸長 DRAM向け 高誘電材料
液晶パネル用途 エッチング薬液

低調 NANDフラッシュ向け 製品

主な要因 (対前年同期)

数量
2.4億円

価格バランス
△ 3.8億円

為替
△ 1.2億円

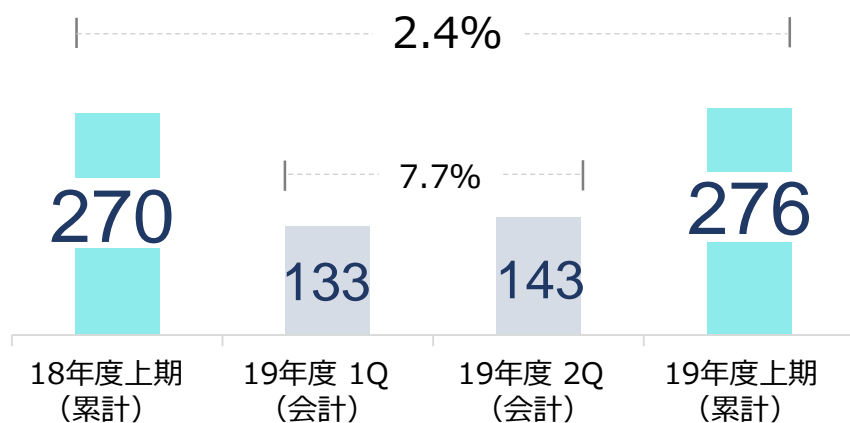
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結

機能化学品 増収減益

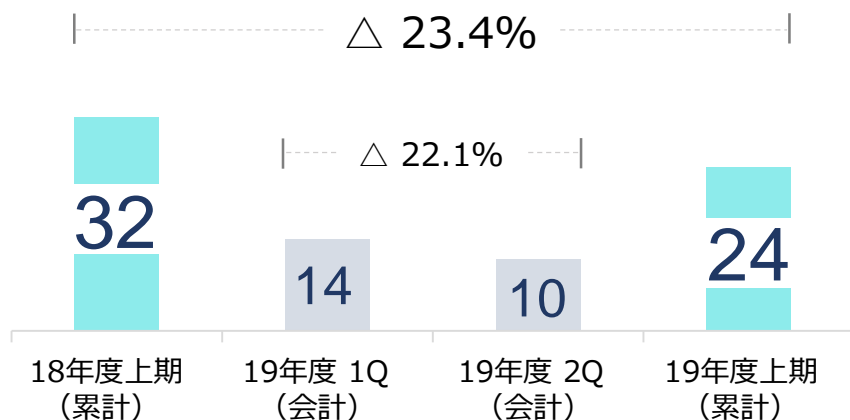
◆ 売上高

(単位：億円)



◆ 営業利益

(単位：億円)



主な要因 (対前年同期)

◆ 界面化学品

好調

保湿・ゲル化用途 化粧品原料
塗料・粘接着剤向け 反応性乳化剤

◆ 機能性樹脂

好調

電子機器の接着用途 エポキシ樹脂関連

◆ 工業用薬剤

低調

紙・パルプの漂白用途 過酸化製品

主な要因 (対前年同期)

価格バランス

6.4億円

数量

△ 4.7億円

固定費他

△ 8.7億円

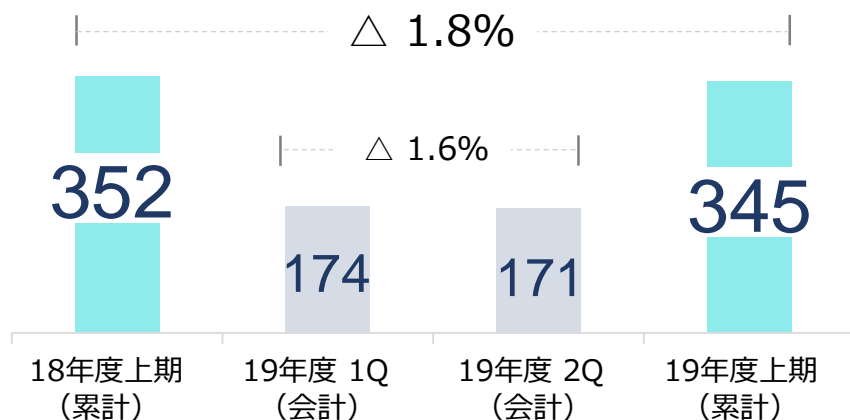
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結

食品 減収増益

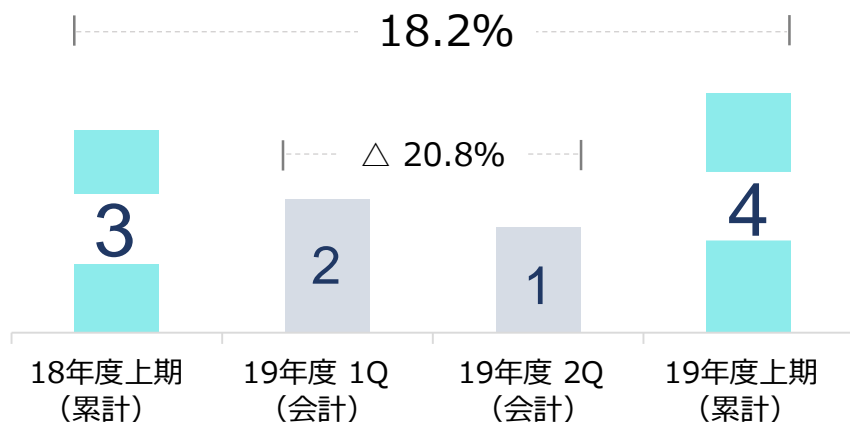
◆ 売上高

(単位：億円)



◆ 営業利益

(単位：億円)



主な要因 (対前年同期)

◆ 国内

食品ロス対策による需要減少や市場での菓子パン類の不振

低調 マーガリン、ショートニング類

◆ 海外 (中国・東南アジア)

販売体制の強化、現地ニーズにあった製品開発

好調 マーガリン、ショートニング類

主な要因 (対前年同期)

価格バランス
2.3億円

数量
0.9億円

固定費他
△ 2.3億円

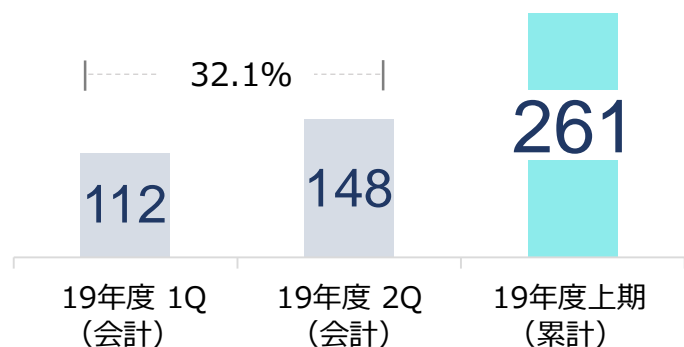
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結

ライフサイエンス 日本農薬の業績を取り込み

◆ 売上高

(単位：億円)



主な要因

◆ 農薬

好調

ブラジル市場の回復 南米地域

低調

天候不順の影響等 国内・アジア地域

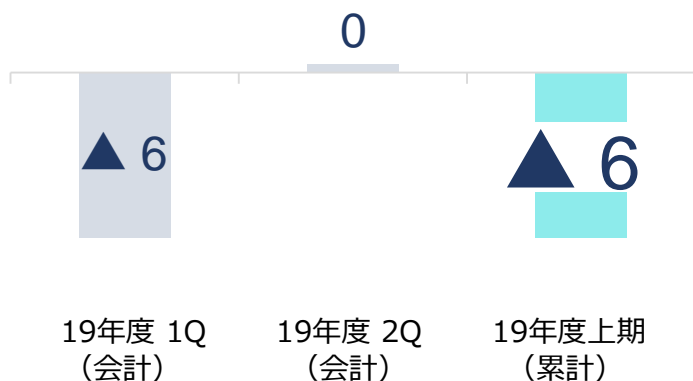
◆ 医薬品

低調

足白癬分野
外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

◆ 営業損失

(単位：億円)



主な要因

農薬の不需要期で営業損失となった

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2019年度 連結業績予想と事業施策

2019年度 連結業績予想

連結

(単位：億円)

	2019年度			2018年度 実績	増減	増減率 (%)
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)			
売上高	1,461	1,738	3,200	2,993	206	6.9
営業利益	90	134	225	266	△ 41	△ 15.5
経常利益	82	142	225	266	△ 41	△ 15.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	59	88	148	170	△ 22	△ 13.2
1株当たり純利益 (円/株)	57.5円	86.1円	143.7円	165.8円	△ 22.2円	
配当金 (円/株)	24円	24円	48円	45円	3円	

		2019年度前提		2018年度実績
		期初	下期	
為替	円/\$	110.00	106.00	110.90
	円/€	128.00	121.00	128.40
ナフサ	円/KL	47,000	45,000	49,400

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2019年度 連結業績予想 (セグメント別)

連結

(単位：億円)

	上期実績 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)
売上高	1,461	1,738	3,200	2,993	206	6.9
化学品	812	932	1,745	1,807	△ 62	△ 3.5
樹脂添加剤	406	473	880	946	△ 66	△ 7.0
情報・電子化学品	129	155	285	301	△ 16	△ 5.5
機能化学品	276	303	580	559	20	3.6
食品	345	394	740	717	22	3.1
ライフサイエンス	261	368	630	344	285	83.0
その他	42	43	85	123	△ 38	△ 31.4
営業利益	90	134	225	266	△ 41	△ 15.5
化学品	87	95	183	215	△ 32	△ 15.3
樹脂添加剤	32	34	67	69	△ 2	△ 3.0
情報・電子化学品	30	33	64	82	△ 18	△ 22.1
機能化学品	24	27	52	64	△ 12	△ 19.7
食品	4	13	18	12	5	43.1
ライフサイエンス	△ 6	25	19	33	△ 14	△ 42.8
その他	4	0	5	4	0	8.5

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2019年度下期の事業環境

経済：減速基調

米中貿易摩擦

英国の
EU離脱問題

世界的な
環境規制の強化

消費税増税
の影響（日本）

自動車

- ✓ 中国、米国、欧州市場での自動車販売が低迷。
- ✓ 次世代車普及への取り組みが活発化。

・コネクティッド（通信）
・自動運転
・カーシェアリング
・電動化（軽量化） 他

IT・半導体

- ✓ 半導体市場の低迷は底打ち。本格的な回復は2020年以降か。
- ✓ 5G通信の普及により、電子機器の高性能化の流れが継続。

・メモリの大容量化
・画面の大型化・高精細化
・電池の長寿命化 他

食品

- ✓ 食品ロス削減、労働力不足への対処に貢献する、新たなニーズも表出。

・賞味期限延長
・冷凍・チルド流通 他

市場の変化を見据えた製品開発・投資を実行
経済・市況の回復とともに、事業拡大に拍車をかける

ポリプロピレン用高性能核剤の拡販（樹脂添加剤）

自動車業界の課題・ニーズ



- 環境規制強化による燃費向上
- EV（電気自動車）の車重軽減

部材メーカー

対応策の一つ：**樹脂材料の活用**（金属/樹脂複合、樹脂単独）

ポリプロピレン（PP）用 高性能核剤「アデカスタブ NA-27」

PP樹脂に添加



部材を強く薄くできる

車体の強度を維持したまま軽量化することで、
「燃費向上」に効果を発揮

グローバル市場でのさらなる拡販に注力



▲ PPが使用される主な自動車部材

半導体材料の拡販（情報・電子化学品）

AI・IoTの進展、5G通信の普及にあたっての課題・ニーズ



- メモリの微細化・多層化による大容量化
- データ高速処理による通信のリアルタイム化

■ 半導体の技術ロードマップ

	2017	2019	2021	2024	2027	2030	2033
DRAM	18nm	17.5nm	17nm	14nm	11nm	8.4nm	7.7nm
NAND	64層	96層	128層	192層	384層	512層	512層
ロジックIC	18nm	14nm	12nm	10.5nm	7.0nm	7.0nm	7.0nm

▲出展：IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）の発表資料
 “2018_International Roadmap for Devices and Systems”をもとに当社で作成

特徴	当社の高誘電材料（High-k 材料）	施策
<ul style="list-style-type: none"> ● DRAMキャパシタを 薄く、均一に作ることが可能 ● メモリの大容量化、デバイスの小型化や省コストに貢献 		<ul style="list-style-type: none"> ● 最先端の微細化に対応した新規高誘電材料の量産 ● 韓国と鹿島工場で設備投資を実行 ● 韓国のR&Dセンターを拡充

船舶用燃料添加剤の販売開始（機能化学品）

海運業界の課題・ニーズ

- SOx規制強化への対応「大気汚染等の原因となる硫黄酸化物（SOx）の排出削減」
⇒ 2020年1月から、船舶燃料油（C重油）に含まれる硫黄分の上限値が引下げられる



海運
各社

対応策の一つ： **主流** 「高硫黄」から「低硫黄」へ燃料油を切替

課題

「燃料切替時」や「低硫黄燃料油の使用時」に、船舶の機関トラブルの原因となる燃料スラッジ（燃料不溶物）の発生が懸念される

スラッジ分散剤「アデカエコロイタル SD-20」

界面活性剤のようにスラッジを包み込むことでスラッジの固形化を防ぐ

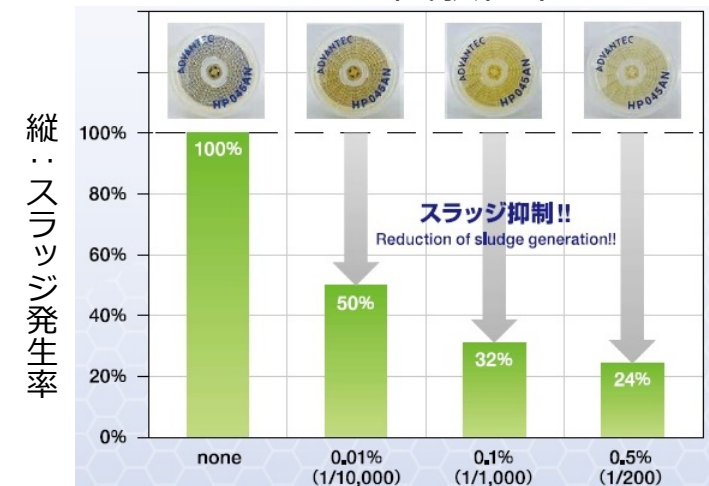
燃料油に添加



スラッジの発生を抑制

船舶の安全運航と環境規制への対応を実現

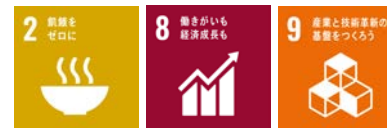
ラボ試験結果



横：アデカエコロイタル SD-20添加量

ホイップクリームの販売拡大（食品）

洋菓子業界の課題・ニーズ



- 労働力不足
- 食品ロス削減
- 海外展開（輸出）
- ネット販売の拡大（生産効率化・省力化）

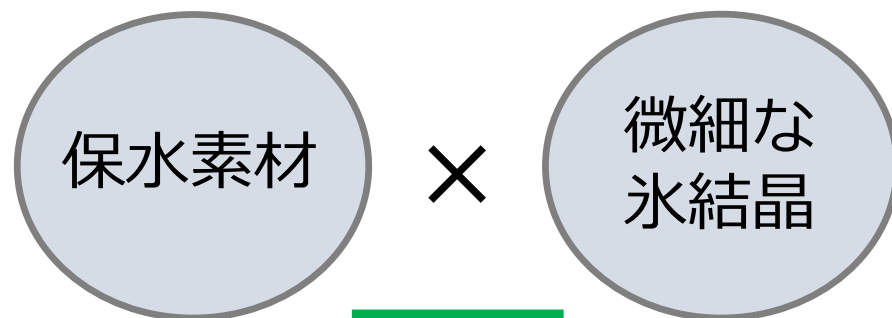
洋菓子
メーカー

対応策の一つ：**冷凍・チルド流通**「冷凍で配送して、必要な分だけ解凍し販売」

課題 冷凍・解凍しても食感や風味を損なわないクリーム

2019年度新製品

フローズンチルドデザート用ホイップクリーム「ブレンドホイップFC」



冷凍解凍後も

「みずみずしく滑らかな食感」や
「新鮮な乳風味」を維持し、**おいしさに貢献**

おいしさと安心の
ベストパートナー
**RISU
BRAND**



▲ ブレンドホイップFCを使用した応用例

次世代二次電池向け材料のサンプル提供開始 (環境・エネルギー)

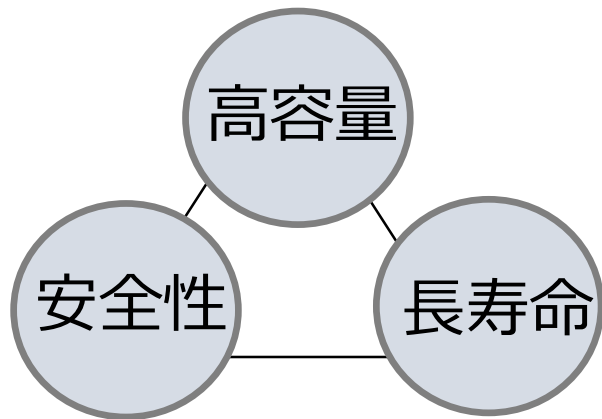
自動車業界、電力業界の課題・ニーズ



- 再生可能エネルギー
- 資源枯渇問題
- 安全性
- 電力自給率 (国内)

自動車	課題	EVに搭載する電池の大容量と高安全性の両立
電力	課題	太陽光などの出力変動が大きい自然エネルギーの効率的利用

次世代二次電池向け材料： レアメタルフリー電極活物質「SPAN (エスパン)」、導電助剤「グラフェン」



- ✓ レアメタルを使用しない。
- ✓ 安全性試験(釘刺し試験)において、セル温度上昇の抑止を確認。
- ✓ 良好な充放電サイクル特性により、長期に安定した電池性能を実現。



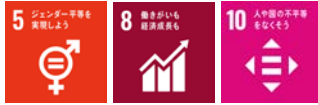




**相馬工場にパイロットプラントが完成。
EV・定置用蓄電池向けにサンプル提供を開始。**



CSR活動の推進に向けた取り組み

ADEKAが取り組むべきCSR優先課題を選定



分類	優先領域	優先課題
E	環境	環境貢献製品の提供 
		地球環境の保全 
S	人権・人財	人権の尊重 
		人財活躍の機会拡大 
	豊かなくらし コミュニケーション	社会の期待に応える価値創出 
		ステークホルダーとの対話 
G	ガバナンス	グループガバナンス・リスクマネジメントの強化 

CSR優先課題のKPI設定(検討中)

中期経営計画「BEYOND 3000」進捗

	2018年度実績 (中計1年目)	2019年度予想 (中計2年目)	2020年度 (中計最終年度)
連結売上高	2,993億円	3,200億円	3,000億円超 (オーガニックグロース)
内、オーガニック グロース	2,550億円	2,570億円	
営業利益率	8.9%	7.0%	10%
R O E	8.5%	7.2%	10%
投 融 資	362億円/年	—	1,000億円/3カ年
設備投資額	174億円/年	160億円/年	500億円/3カ年
M & A 投資枠	188億円実行	—	500億円/3カ年
配 当	配当性向27.1%	配当性向33.4%	配当性向30% (段階的に引き上げた最終年度目標)

* オーガニックグロース：樹脂添加剤、化学品、食品の事業成長で売上高3,000億円超を目指す計画（M&A寄与分を除く）。

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

さらなる事業拡大に向けた戦略投資

樹脂添加剤

三重工場 ポリオレフィン用添加剤の設備増強 (2019年7月)

情報・電子化学品

鹿島工場・ADEKA KOREA CORP. 高誘電材料の新設備が完成 (2019年5月)

機能化学品

千葉工場 水系ウレタンの新設備が完成 (2019年8月)

相馬工場 潤滑油添加剤の設備増強 (2019年10月)

艾迪科 (中国) 投資 水系樹脂等のイノベーションセンターを開設 (2019年8月)

食品

艾迪科食品 (常熟) 加工油脂の設備増強 (2019年8月)

艾迪科食品 (常熟) 販売拠点として中国・広州市に分公司を開設 (2019年6月)

コーポレート研究 (環境・エネルギー)

相馬工場 SPAN・グラフェンのパイロットプラントを設置 (2019年4月)

継続中の主な投資案件

樹脂添加剤・化学品

艾迪科精細化工 (浙江) の新工場建設
(2020年1月稼働予定)

情報・電子化学品

ADEKA KOREA CORP. のR&Dセンター拡充
(2020年春完工予定)



▲ 相馬工場 潤滑油添加剤設備

ご参考

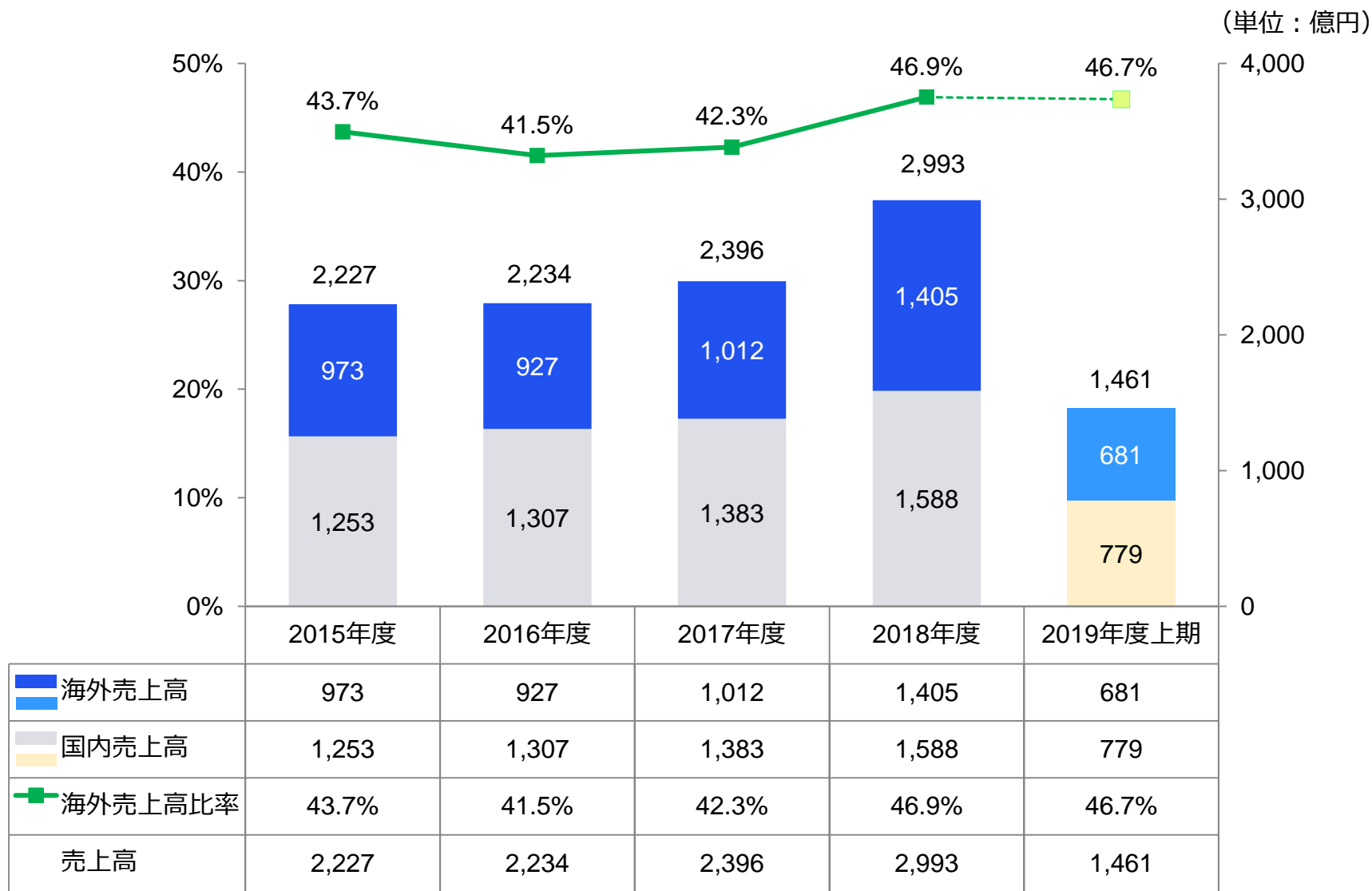
技術と信頼で

世界に貢献

未来へ繋ぐ

BEYOND 3000

海外売上高（ご参考）



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2019年度第2四半期 決算説明補足資料

取締役執行役員 志賀 洋二

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考
 - ◆ 単独・連結子会社の決算概要
 - ◆ ADEKAグループ概要（連結子会社・持分法適用会社）
 - ◆ 事業区分別主力製品

1-1 連結貸借対照表

連結

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2019.3.31現在)	当第2四半期末 (2019.9.30現在)	前期末比 増減
資産の部			
流動資産 ①	233,087	210,903	△ 22,184
固定資産	181,462	186,482	5,020
有形固定資産 ②	108,672	113,537	4,865
無形固定資産	17,596	16,856	△ 739
投資その他の資産	55,193	56,088	895
資産合計	414,549	397,386	△ 17,163
負債の部			
流動負債 ③	107,156	90,635	△ 16,520
固定負債 ④	62,893	62,177	△ 715
負債合計	170,049	152,813	△ 17,236
純資産の部			
株主資本	190,772	194,315	3,542
資本金	22,944	22,994	50
資本剰余金	20,023	20,084	61
利益剰余金	148,630	152,063	3,432
自己株式	△ 825	△ 827	△ 1
その他の包括利益累計額	13,807	11,383	△ 2,424
その他有価証券評価差額金	10,098	9,344	△ 753
土地再評価差額金	4,253	4,253	-
為替換算調整勘定	1,867	67	△ 1,800
退職給付に関する調整累計額	△ 2,411	△ 2,282	129
非支配株主持分	39,919	38,873	△ 1,045
純資産合計	244,500	244,572	72
負債及び純資産合計	414,549	397,386	△ 17,163

POINT①

流動資産の減少 △ 221億円

 売上債権の減少 △ 180億円

POINT②

流動負債の減少 △ 165億円

 仕入債務の減少 △ 157億円

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

1-2 キャッシュフロー計算書 (要約)

連結

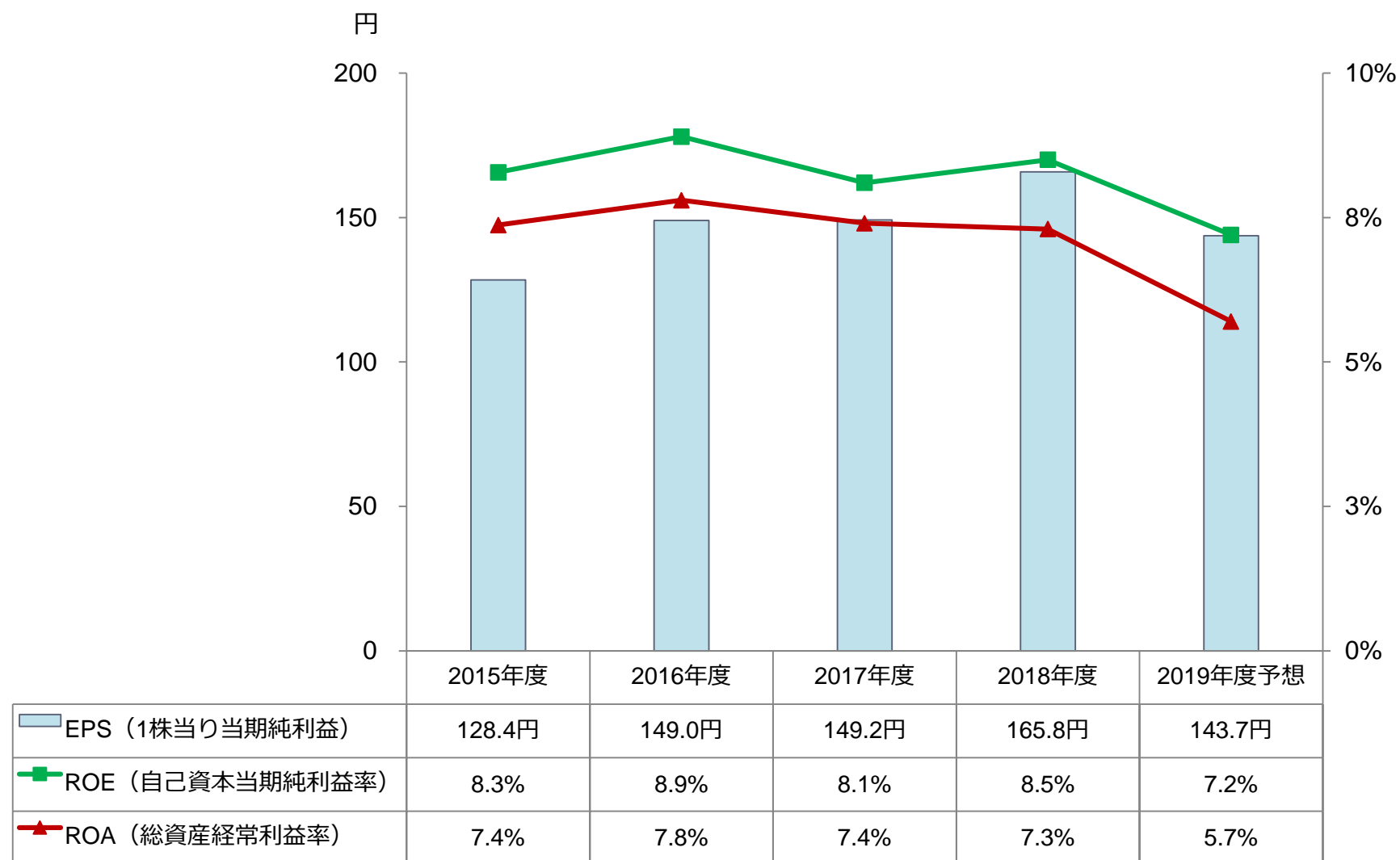
(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計年度 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計年度 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,763	16,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,280	△ 7,891
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,244	△ 7,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 787	△ 589
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	18,939	404
現金及び現金同等物の期首残高	48,902	56,504
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,841	56,909

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

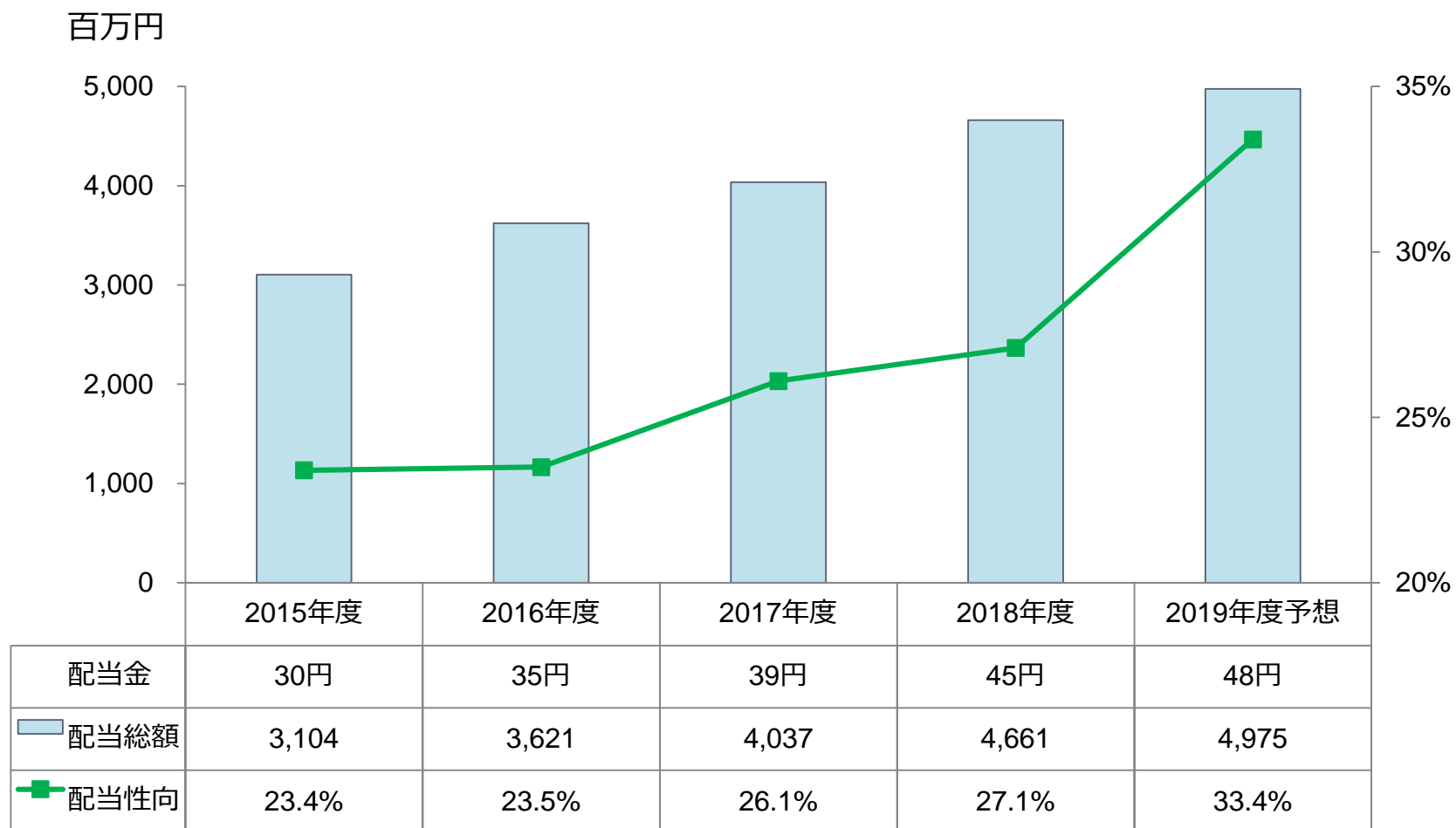
2-1 収益性

連結



2-2 配当金、配当性向

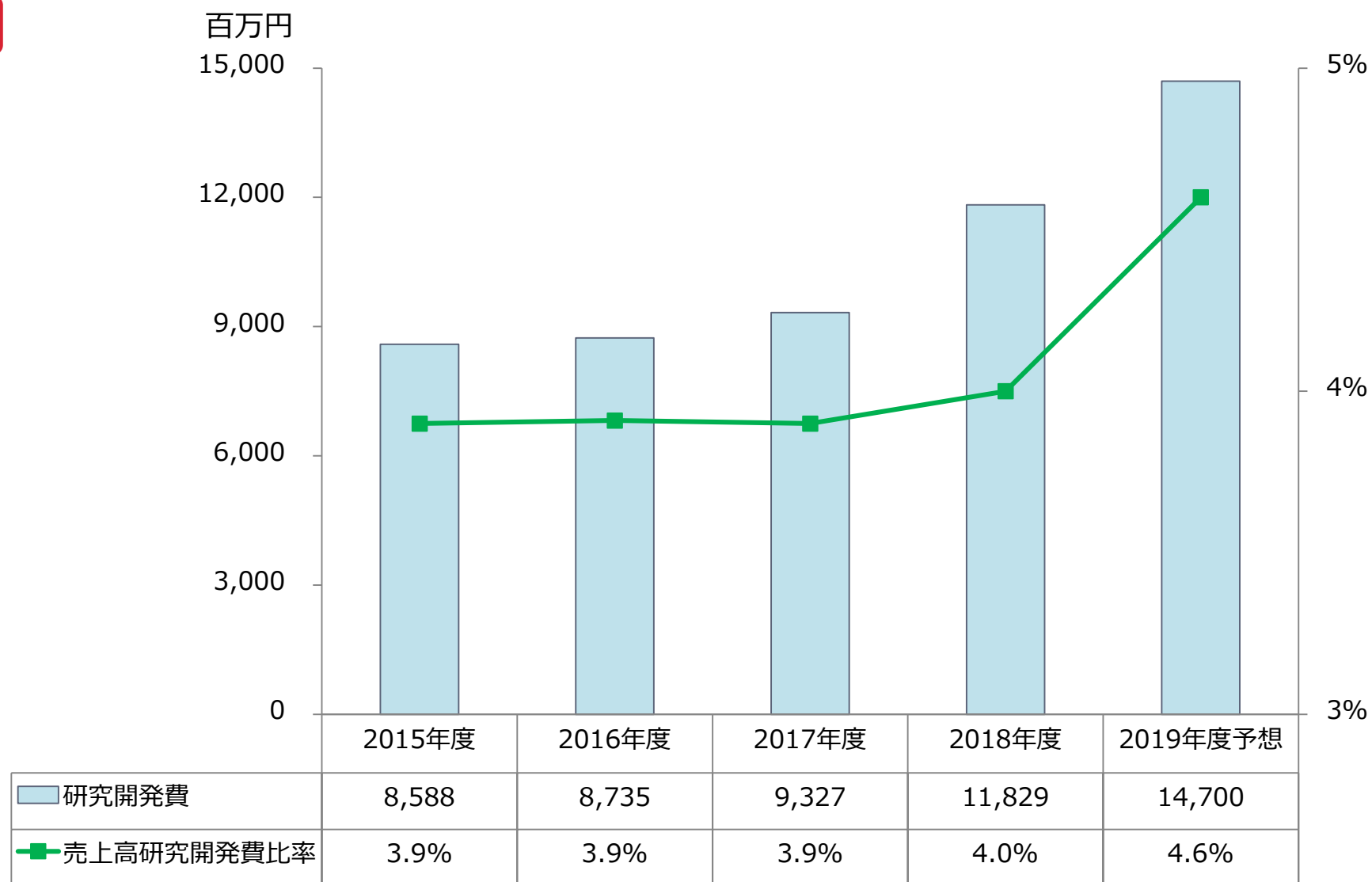
連結



注1) 2016年度の配当金には、創立100周年記念配当金5円を含む 注2) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

2-3 研究開発費

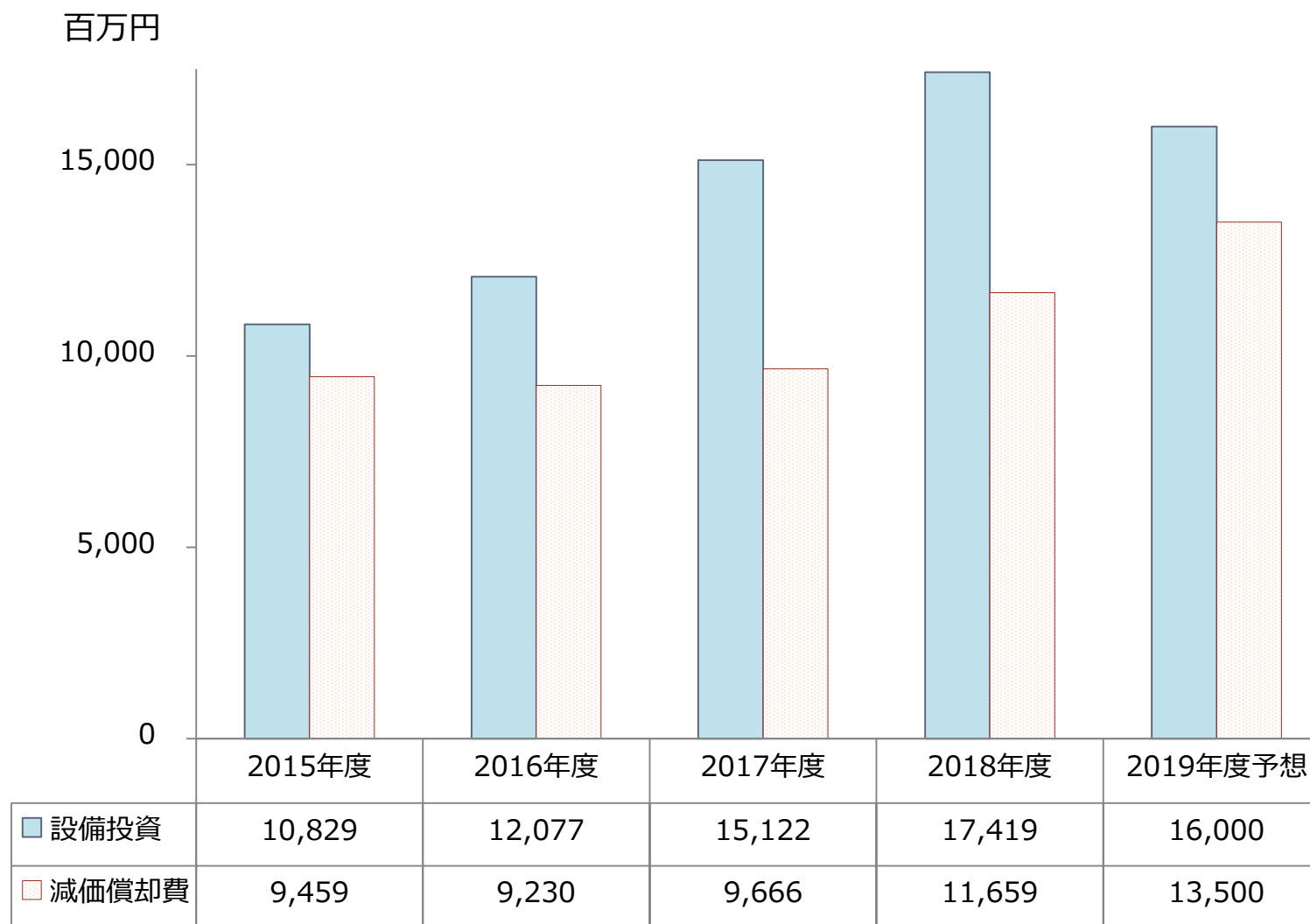
連結



注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

2-4 設備投資

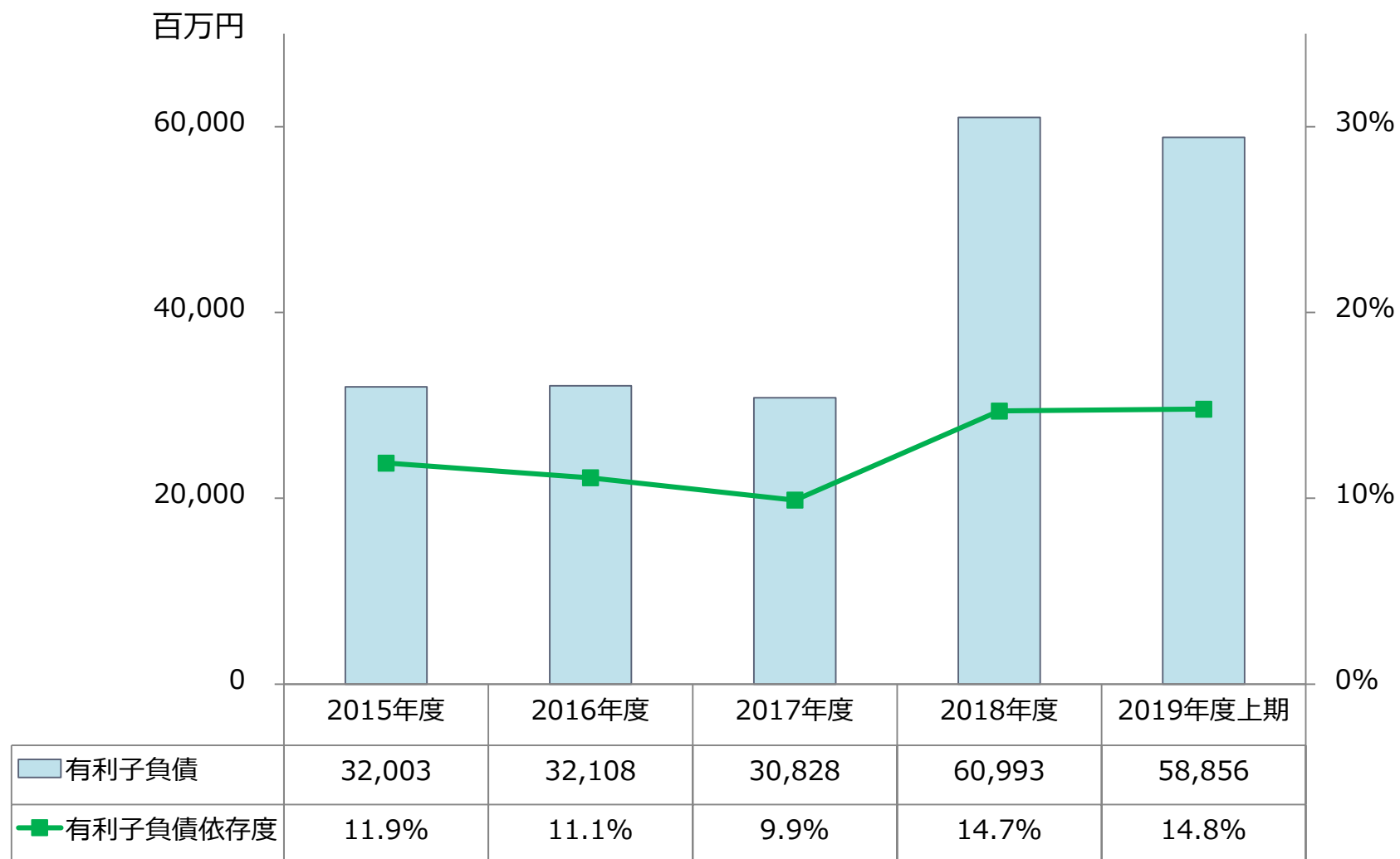
連結



注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債

連結



注) 有利子負債は百万円未満を切り捨てて表示

3-1 単独・連結子会社の決算概要 (2019年度上期)

■ 単独
■ 連結

(単位：億円)

単独決算				
	2018年度 上期	2019年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	666	643	△ 22	△ 3.4
営業利益	55	43	△ 12	△ 22.3
経常利益	66	61	△ 5	△ 7.8
四半期 純利益	50	50	△ 0	△ 1.3
1株当たり 純利益	112.3	120.6		

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

国内 (11社)				
	2018年度 上期	2019年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	470	472	2	0.4
営業利益	10	10	△ 0	△ 5.7

海外 (16社)				
	2018年度 上期	2019年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	730	676	△ 54	△ 7.5
営業利益	46	46	0	0.3

日本農薬 (10社)				
	2018年度 上期	2019年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	—	261	261	—
営業利益	—	△ 2	△ 2	—

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結調整 (消去他)		
	2018年度 上期	2019年度 上期
売上高	△ 606	△ 591
営業利益	△ 6	△ 7

3-2 連結子会社概要 (国内16社①)

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	100.00 (間接所有5.57)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.14	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、 魚介類を使用した加工製品の製造、販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト、調理食品の製造、 販売
食品	(株)クラウン	10百万円	100.00	油脂類、製粉、香料など食品材料及び加工食品などの卸売

3-2 連結子会社概要 (国内16社②)

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
ライフサイエンス	日本農薬(株) 注)	14,939百万円	51.00	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料などの製造、販売
ライフサイエンス	(株)ニチノー緑化 注)	160百万円	100.00 (間接所有100.00)	ゴルフ場用・家庭園芸用・緑化用薬剤の販売、芝・芝関連資材の販売、造園・芝生地の設計・施工など
ライフサイエンス	(株)ニチノーサービス 注)	3,400百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬等の受託製造及び製造販売業、農薬等の保管・配送業務の請負、圃場・栽培管理の請負、不動産の管理業務など
ライフサイエンス	(株)日本エコテック(株) 注)	20百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬残留分析、化学物質の安全性試験など
ライフサイエンス	(株)アグリマート 注)	50百万円	100.00 (間接所有100.00)	白蟻防除資材、防疫用殺虫剤等の販売など
その他	A D E K A 物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	A D E K A 総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	A D E K A ライフクリエイイト(株)	65百万円	100.00 (間接所有20.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

3-3 連結子会社概要 (海外21社①)

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率 (%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USドル	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤の製造、販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USドル	100.00 (間接所有 100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
米国	ライフサイエンス	Nichino America, Inc. 注)	70万USドル	100.00 (間接所有 100.00)	米国における農薬の販売、普及、開発、登録など
ブラジル	ライフサイエンス	Sipcam Nichino Brasil S.A. 注)	22,389万レアル	50.00 (間接所有 50.00)	ブラジルにおける農薬の製造、販売など
ドイツ	化学品	ADEKA Europe GmbH	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万ユーロ	100.00 (間接所有 100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
中国	化学品	艾迪科(中国)投資有限公司	3,100万USドル	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(上海)有限公司	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(常熟)有限公司	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
中国	食品	艾迪科食品(常熟)有限公司	2,300万USドル	70.00	加工油脂、加工食品の製造、販売

3-3 連結子会社概要 (海外21社②)

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率 (%)	事業内容
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造、販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	化学製品の製造、販売
台湾	ライフサイエンス	日佳農薬股份有限公司	4,000万台湾ドル	26.01 (間接所有 26.01)	農薬の製造、販売
インド	ライフサイエンス	Nichino India Pvt. Ltd. 注)	327万インド ルピー	99.94 (間接所有 99.94)	インドにおける農薬の販売、製造、 輸出入、普及、開発など
インド	ライフサイエンス	Nichino Chemical India Pvt. Ltd. 注)	1,050万インド ルピー	100.00 (間接所有 100.00)	インドにおける農薬の製造、販売など
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造、販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)CO.,LTD.	3億5000万バーツ	81.00	化学製品の製造、販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USドル	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA(SINGAPORE)PTE.LTD.	800万USドル	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地 及び関連食品の製造、販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS(ASIA)SDN.BHD.	9,000万RM	60.00	加工油脂の製造、販売

3-4 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
(株)コープクリーン	80百万円	46.88	石鹼、洗剤等の開発、販売
昭和興産(株)	550百万円	20.81	合成樹脂、化学品、産業資材、情報電材、環境関連製品の販売
Agricultural Chemicals (Malaysia) SDN. BHD. 注)	205万RM	24.18 (間接所有 24.18)	マレーシアにおける農薬の製造、販売
Sipcam Europe S.p.A. 注)	3,694万ユーロ	20.00 (間接所有 20.00)	欧州における農薬の製造、販売

3-5 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料等	
	その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他	

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。